

# 保健・福祉

## 生活困窮者自立支援制度との連携は「そら」で支援した事例がある

自殺対策

**増田好秀議員(無所属の会)**  
 平成28年7月、生活困窮者自立支援制度と自殺対策施策との連携について厚生労働省から通知が出た。両者の連携について本市の現状と今後の取り組みを問う。答 本市では、生活困窮者自立相談窓口「市川市生活サポートセンターそら」を設置し各種支援を実施している。事例としては、生活困窮が原因で自殺を図り、救急搬送され入院した市民の退院後の対応について、病院から保健センター経由で「そら」に相談があり、生活困窮の原因であった債務の整理や家計の見直し等の支援により立ち直った。今後も関係機関等と連携して支援を継続していく。

# 一般質問

6月定例会では、17人の議員が一般質問を行いました。質問の持ち時間は答弁を含めて1人60分です。ここでは紙面の都合上、1人1項目を選び質問・答弁を要約し、ジャンルごとにまとめて掲載しました。

# 清掃

クリーンスパ市川

**高坂 進議員(日本共産党)**  
 当初、年間利用者数を約22万人と想定したが、27年度は約28万人であった。増えI事業で運営され、平成19年から34年まで市はサービに入購入料を事業者が支払う。約にならなかった理由は何か。

## 利益還元される契約でない理由は利用者増減リスクは事業者の負担

答 本事業の想定利用者数は、施設の10km圏内の人口と類似施設の実績等から見込んだが、不確定であることから、市のリスクが最も少ない契約とした。利用者数の増減に伴うリスクは全て事業者が負い、損失が生じて市は補填を行わず、収益を上げて市に還元を求めないとしたものである。

集団資源回収

**宮本 均議員(公明党)**  
 市は集団資源回収の協力があっても採算性が低ければ活動が広がらないこともあり得る。市は団体奨励金単価で見直す考えはあるか。

## 他市も参考に適正な設定に努める

答 集団資源回収は、ごみの減量・資源化を目的とした市民・事業者の自主的な活動であり、各活動団体及び協力事業者はこうした趣旨を理解していると考えている。この自主的な活動を行う市民が意欲を損なうことのないよう、他市の状況も参考に、適正な奨励金単価の設定に努めていく。

市営住宅

**大場 諭議員(公明党)**  
 市営住宅への入居には連帯保証人が必要とされるが、除や代理納付の活用が国の入居者のうち、連帯保証人が死亡等でいなくなった人が死亡等でいなくなった人。

## 連帯保証人の免除など市の対応は平成29年4月から免除条項を適用

答 連帯保証人が死亡等で変更されたときに提出される変更承認申請書の受理件数は、過去5年間で128件である。また、生活保護の被保護者については、住宅セーフティネット法の改正を踏まえ、平成29年4月から特別の事情がある場合に連帯保証人を免除する条例の規定を適用している。

受動喫煙防止対策

**西牟田勲議員(民進・連合・社民)**  
 分煙等の受動喫煙防止対策は進んでいるのか。また、啓発活動についての実施状況はどうか。また、啓発活動として、望まない受動喫煙から守る必要が高い妊婦や子どもを対象に、受動喫煙に関する正しい知識を伝えている。

## 公共施設での対策は進んでいるか 全施設で喫煙所改善等の対策済み

市公共施設における受動喫煙防止対策ガイドラインに基づき、屋内外の喫煙所の施設改善を進めてきた結果、現在は全ての施設において対策済みとなっている。また、啓発活動として、望まない受動喫煙から守る必要が高い妊婦や子どもを対象に、受動喫煙に関する正しい知識を伝えている。

# 道路交通

東菅野児童交通公園

**清水みな子議員(日本共産党)**  
 東菅野児童交通公園は平成29年3月にリニューアルオープンし、利用者数も増えたという。公園の西側道路に面した出入口は車の往来が多く、安全対策を求め、現在及び今後の安全対策について、市の考えを問う。

## 公園出入口の今後の安全対策は看板設置等で歩車双方に注意を促す

答 当該公園西側の出入口には、反対側の歩道に渡る横断歩道の他、通過車両の速度を抑制するための電柱幕や飛び出し防止柵も設置している。また、今後の対策としては、出入口脇の外壁に横断歩道を渡る際の安全確認を促す看板の設置や、車両のスピード抑制等の注意を促す看板を電柱に追加すること等が考えられる。

コミュニティバス

**長友正徳議員(無所属の会)**  
 北西部地域のコミュニティバスについては、平成28年5月に試験走行が行われた後、9月には要望者が

## 北西部での運行に向けた進捗状況は運行計画案を経て実験運行を判断

地域住民を対象にアンケート調査を行い、その集計結果を基にルートを再検討した要望が市に提出された。こうした経緯を踏まえ、コミュニティバスの整備に向けた進捗状況について問う。答 市は29年4月に改めて新たなルートの要望を受け、5月に警察やバス事業者等と現地確認を行った。また、松戸市域がルートに入るため、現在、松戸市にも確認を依頼している。今後、要望者による運行計画案の作成を経て、社会実験運行へ進めるかを判断していく。

# 街づくり

住居表示

**松葉雅浩議員(公明党)**  
 稲越町等6地区については、昭和58年に住居表示実施地区として議会の議決を経ていながら未実施のまま

## 稲越町等6地区 今後の取り組みは街区形成は十分 審議会に諮問する

である。街区の形成が十分に進んでいないことが実施見送りの主な理由とのことだが、平成27年度から6地区の街区形成状況を調査し、29年度末に答申をもらう予定である。

原木3丁目のホテル建設

**松永修巳議員(創生市川第2)**  
 原木3丁目地先の京葉道路原木インター至近にビジネスホテルが新設される。地上14階、計約460室の計画をどう把握しているか。

## 大型ビジネスホテル 事業計画は29年6月に開発許可 30年完成予定

答 本事業については、平成28年11月に株式会社東横インから条例に基づく計画相談書が提出され、29年6月上旬に開発許可を行った。車両が入りする細い市道では、敷地の一部を利用して空間を確保する他、汚水処理は約600人槽の浄化槽を設置する計画で、完成は30年4月末の予定である。

※「いちかわ市議会だより」平成29年5月13日号7面の清水みな子議員の一般質問記事に誤りがありました。訂正内容は次のとおりです。(正)平成29年1月 (誤)平成28年1月